

まるごと“ふらの”を華麗(カレー)に食べよう!
～食(カレー)を通して農業・商業・消費者を結ぶかけ橋に～

第223号 2015. 10. 27 配信
発行元:食のトライアングル(農・商・消)研究会

がらんジャー通信



毎月22日は華麗(カレー)の日!
毎月6日はオムカレーの日!

食のトライアングル(農・商・消)研究会は

地元の食材に付加価値をつけたカレーを通して、食への意識や関心を高め、市内はもとより道内外に“ふらの”の魅力を華麗(カレー)に発信することを目的に、「楽しく・ゆるやかに・継続して」を基本にワクワクさせる取り組みを展開します。

トピックス:富良野オムカレー(こくさんたくさん週間)キャンペーン

国産農林水産物の消費拡大、食料自給率向上に向けて、農林水産省や民間企業、団体、消費者等が一体となり推進する国民運動「フード・アクション・ニッポン」。その取組みの一環として、本年度、11月1日～8日の週間、新たに国産農林水産物の消費拡大に向けた取組を集中的に行う取組強化週間「日本の旬を、めしあがれ。～こくさんたくさん週間」(以下、「こくさんたくさん週間」)を設定したが、フード・アクション・ニッポンの推進パートナー(平成27年9月30日現在、8,928社・団体加盟)に加盟する富良野オムカレー推進協議会(会長:石川節子)と富良野緑峰高等学校(学校長:宮本鎮栄)の“ふらのカレンジャー娘”は連携し、週間中に富良野オムカレー(こくさんたくさん週間)キャンペーンを実施し、国産農林水産物の魅力を日本全体で再発見する国民運動を後押しする。

同協議会は、11月1日に「こくさんたくさん週間」を周知するため、新聞折込チラシを入れるほか、週間中、富良野オムカレー提供店(10店舗)でポスターやミニのぼりで店内を飾り、6日のオムカレーの日には、提供店で富良野オムカレーを食事したお客様先着10名に、ふらの農業協同組合、ハウス食品㈱、大西養鶏場が協賛する富良野産野菜や卵、カレールウなど、家庭でオムカレーを作るセットをプレゼントする。

ふらのカレンジャー娘は、7日にコミュニティカフェ「暮らしステーション」(末広町18番5号)で1日シェフとして富良野産食材を使った富良野オムカレーを限定30食販売する。

同協議会は、「こくさんたくさん週間を市民の方に知ってもらい、富良野産の食材など、国産食材の購入や食べるきっかけにつながれば」と期待する。



富良野オムカレー(こくさんたくさん週間)キャンペーンをPRする富良野オムカレー提供店の店主ら



11月7日(土)に1日シェフとして富良野オムカレーを提供販売する富良野緑峰高等学校の“ふらのカレンジャー娘”